

立雲寺だより

vol
07

令和4 / 秋

血縁



六波羅蜜の修行

- 布施：施しの心
- 持戒：決まりを守る
- 忍辱：我慢強く平静を保つ
- 精進：常に努力する
- 禅定：心を落ち着ける
- 智慧：正しく考える

忘れられない味

「忘

れられない味」はあるでしようか？オフクロの味や、小さい頃好きだったお菓子の味も忘れられないですが、私（光汰）は学生の頃、亡きお寺の祖母に連れられて行ったお寿司屋さんの味が忘れられません。そこはご夫婦で営んでおり、祖母と仲が良く、私の同級生の祖父母というご縁もあり家族ぐるみのお付き合いをしておりました。いわゆる名店で、今でも私の中で一番美味しい寿司であつたと断言できます。

先日、そのお寿司屋さんの店主が亡くなりご葬儀をさせていただきます。ありがたいながら物腰が柔らかく、優しく微笑みながらお客さんの話を聞き、手元は一切の無駄がなく、いつも身なりは整い店内は清潔、味も接客も全てが一級品でした。お坊さんになった今、その方の生き方は「六波羅蜜」を体現していたのだなと考えるようになりました。六波羅蜜の修行は上の表にある通りです。

いのちに合掌

日頭山



日蓮宗
Nichiren Shu

立雲寺



立正安国・お題目結縁運動
いのちに合掌

〒050-0086

北海道室蘭市大沢町 2-4-1

TEL (0143)44-4306

MAIL ritsuunji@gmail.com

立雲寺公式サイト



先日のお彼岸は、これらの六つを行うことによって、煩惱多き此岸より悟りの彼岸に到達することを目指す仏道修行期間です。十代の頃から寿司屋に弟子入りして修行を積み（精進）、常に美味しい寿司を提供できるように毎朝新鮮な魚を仕入れ、シヤリを仕込む毎日の習慣があり（持戒）、味を継続するのにも沢山の苦労があつたことでしょう（忍辱）。そんな中でもお客さんの話をよく聞き、感情的になることなく物腰柔らかく接客する（禅定）。そして何より、お客さんに美味しい物を食べてもらいたい、喜んでほしいという思い（布施）があつたからこそ、あの味、そして名店と呼ばれるにふさわしい姿（五つの修行が合わさった智慧）があつたのだと思います。その方のご葬儀は、ご家族、参列者が皆、涙を流しながらも「おじいちゃん、ありがとう」と感謝の気持ちで自然と溢れる、良い葬儀となりました。自分の目標に向かっていく過程で自然と必要な心持ちが備わっていく。またそのような心持ちだから、目標に向かっていくことができる。多くを語らない方がですが、その姿からは沢山の学びをいただきました。そしてその姿勢や思いは子に孫に、代々伝わっていくのだなと思ひ、自然と手を合せたくなりました。

秋号もくじ

- 1 忘れられない味
- 2 行事予定 (10~1月)
- 3 ご祈祷レポート
お盆の御礼
- 4 期間限定御朱印
教室案内
学びの時間
春夏秋冬

令和4年

10.12(水)

場所

立雲寺本堂

13:00~

お会式報恩法要

法要後~

法話(林 光汰)
くじ引き

法要後、光法師による法話があります。



法話後、くじ引きを行います。お寺ならではの景品を用意しています。



10/12 (水)

13時 お会式

日蓮聖人のご命日偲ぶ

十月〜一月 予行定事

- 10月 12日 お会式
 - 11月 1日 寒水行初め
13日 13日講
 - 12月 5日 寒水行納め
18日 大黒祭
 - 1月 1日 新年祈禱会
13日 13日講
- 2日 日
8日 日
18日 日
28日 日
- お守り作り体験 (13:00-14:30)

日

蓮聖人は、自身の生涯をかけてお釈迦様の説いた真実の教えである法華經を世に弘めるため尽力されました。そしてその功德を「南無妙法蓮華經」に込め未来に託され、一二八二年十月十三日、武蔵国池上（現在の東京都大田区池上）にて六一歳で入滅されました。このご命日を偲び報恩を捧げられるのが「お会式」です。今年で七四一遠忌をお迎えします。毎年多数の僧侶をお招きしご法話・法会を営み、くじ引きの催し物を行っています。今年も昨年同様、僧侶はお招きせず寺内の僧侶で法話・法会・くじ引きの催しを行います。

お会式を通して日蓮聖人に報恩感謝するだけでなく、私たちはいのちの営みの中で生かされていること、当たり前のことが実はありがたいことであることが再確認し、周りの方に「ありがとう」と言える日にしたいですね。



1月 新年祈禱会

除夜の鐘と共に元旦0時から水行、本堂にて新年祈禱会、最後に新年がより良い年になるよう祈りを込め「家運隆昌」のお札を授与します。

初詣を兼ねて、旧年中にたまった垢をきれいに洗い流し、神仏やご先祖様に一年間を無事に過ごさせてもらったお札をいただきます。

ご祈禱を受け、新年を清々しい気持ちでスタートしましょう。

12月 大黒祭



法華經の守護神、八万四千の福德神をつかわして、私たちに福德や財宝を与える七福神として広く親しまれている大黒天の大祭です。

皆さまのお仏壇に祀っている大黒天像を銭洗いし、大黒天の掛け軸の法楽莊嚴（多数の経力をいただきより一層の御加護を受けること）を行います。大黒天の福德をいただきましょう。今年は大黒天デザインの御首題もお出しします。

11月 寒水行



自身の罪障を払い六根（眼・耳・鼻・舌・身・意）清浄の為、立雲寺では十一月一日から十二月五日までの三十五日間、一日一回水行を行います。この期間に「肌守り」に毎日お経をかけてご祈禱します。「肌守り」は、いつも身につけて心に法華經・お題目を保つことを心がけることで、障りから身を守ってくれるお守りです。

1月 お守り作り体験



誓い、諸天善神に見守っていただくものです。

簡単な写経・目標、名前を書き包みます。僧侶が開眼（魂入れ）と心願成就を祈り心を込めてご祈禱をします。新年限定御首題と記念品を授与します。申込は電話・メール・ウェブにて。

世

界に一つだけのお守りを作る体験。好評につき今年も開催いたします。

新年のスタートに自分の目標を定め、それに向かって努力することを目指します。

ご祈祷レポート

立雲寺で行っているご祈願やご祈祷を紹介・解説いたします。日蓮宗のご祈祷は、法華経を信仰することにより現世の安穩、大難が小難、小難が無難に転じることを祈ります。人生の節目でのご祈願やお祓い、また様々な相談事を受け付けております。

#01

地鎮祭

於 ご自宅建設予定地



家を建てる前の大切な祭礼

地鎮祭は省略すべきではない大切な儀式です。新しく家を建てる際、その土地を守る神様(地神・水神など)に、土地を使用しこれから生活することの許しを請い、土地に付く邪気の退散や迷霊の成仏を祈ります。そして工事が何事もなく安全に進み、無事完成し施主の子孫長久・家内安全を祈

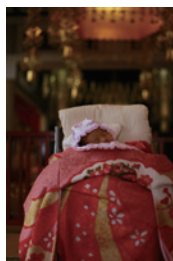
願します。最後に東西南北など方位の神様の幣束を埋めて守っていただきます。これから長くその土地に住み続けるので、土地を守る神様に「住まわせていただく」という気持ちが大切です。

これから家を建てる方が居られましたらご相談下さい。家相(間取りの配置)もご相談下さい。

#03

お宮参り 七五三

於 立雲寺本堂



子供の健康と幸福を祈る

子供の成長の節目に、ここまで成長したことの感謝と報告、これからのますますの成長と、勉強に遊びにスポーツにと、元気に育つことを祈りご祈祷を行います。お宮参り・七五三は祈祷札・お守り・千歳飴等の記念品を授与いたします。最後に本堂で記念撮影をいたします。

#02

やぎとう 家祈祷

於 ご自宅



家を祓い清めお守り頂く

何らかの事情で地鎮祭を行っていない・建売や中古の家・マンション…等に引っ越す場合、その土地や建物にまつわる悪因縁を払い清め、家屋を守護するお札を貼ってお守り頂きます。

これから賃貸や中古に引っ越す方や、今住む場所が何か気になる方は、早めにご相談下さい。



限定御朱印

「大黒天」

頒布期間 12/1~12/31 志納金 500円

12月の大黒祭に合わせた大黒天です。大黒天の福德をいただきます。デザインは作成中ですので楽しみに。

12月限定

デザイン作成中

お盆が無事に終了致しました。



今年も無事にお盆期間が終了し、ご先祖様、多くの精霊に皆さまのご供養を届けることができました。お参りご苦労様でした。

また今年より、新しい要素を加えたイタンキ漁港での「灯ろう流し」も事故なく終えることができました。風が強く大変でしたが、また来年、安全でより良い形でできるようお寺内一同精進して参ります。ありがとうございました。来年も宜しくお願い致します。



今季の一冊



『超訳 日蓮のことば』
松岡幹夫 著 / 柏書房

日蓮聖人は非常に多くの書や手紙を遺しています。それらは私達が毎日お経の際に必ず読み上げる程大事であり、それらから日蓮聖人の思想や法華経への信仰、人間味も感じることができます。原文・現代語訳・作者の超訳が入っているのでわかりやすく、いつも読み返しています。(光汰)

【お】 迎えはいつでも良いが今日はダメ【俺を見てご先祖様と孫が言う】これは毎年全国から応募されるシルバー川柳の入賞作品で、思わずクスツと笑えます。お釈迦様が避けられない事として生老病死を説かれています。が、いずれ私達もお迎えが来ますし、ご先祖様にもお迎えが来ます。年を重ねてくると「いつかそういう時がくるんだなあ」と増々実感するようになって来ました。仏教には『臨終正念』という言葉があります。迷いなく静かにその時を迎えられる事を言い、



第7回
りんじゅうしょうねん
「臨終正念」
文・林永清

林永清 (はやし・えいしん) / 立雲寺副住職。
令和3年5月より「立雲寺だより」にて一口法話「学ぶの時間」を連載開始。

仏教者の一つの目標でもありません。往生際が悪いとは、その反対の意味になります。ネイティブアメリカンの教えに次のような言葉があります。「あなたが生まれた時、あなたは泣いて、周りの人達が笑って、あなたが去る時、あなたが笑って、周りの人達が泣いている。そんな人生を送りなさい」と。心穏やかにその時を迎える事は、時代・宗教・人種を越え、私共人類の目標、願いでもあるのです。何かのご縁で日蓮宗・法華経という信仰で繋がっている私達。いつか来るその時も「お題目」を一緒に唱えて参りましょう。

教室案内
調 寺ヨガ guna 講師 林南歩
TEL 080-9610-1030

朝ヨガ 第2・4日曜日 8:45~(60分)	昼ヨガ 第1・3金曜日 10:30~(60分)	夜ヨガ 毎週木曜日 18:45~(60分)
------------------------------	-------------------------------	-----------------------------

※お寺の都合で変更・中止することがあります。

講師 林香織
TEL 090-5079-0747
公文書写教室 書

<学べる教科> ペン習字 かきかた 筆ペン 毛筆

11月【1日無料体験学習実施】
(最大3回まで体験可)

11月 14日/21日/28日(月) 17:00~20:00
15日/22日/29日(火) 14:00~19:00

※体験希望の方は事前にお問い合わせ下さい。

写 写経会
10/26(水) 13:00~15:00 如来神力品第二十一
11/26(土) 13:00~15:00 如来寿量品第十六

参加費 1,000円
持ち物 特になし
予約方法 電話・メール・LINE インスタにて受付。

春夏秋冬 「地獄VR」という記事が目玉に止まりました。あるお寺で作成され、Googleを装着し、360度見渡せる仮想現実で地獄への旅を体験できるというものです。三途の川を渡るとエンマ様に「お前はどうか生きてきたんだ？」と問われる。想像するだけでドキツとする。私はどう生きてきたのだろうか？今からでも間に合うだろうか？これからどうしたいのか、真剣に自分と向き合いたい。エンマ様に「私はこう生きてきました。」と言えるようになりました。という目標が出来ました。(恵)

立雲寺 Instagram RITSUUNJI
立雲寺LINE 公式アカウント @183iejsa

様々など相談を随時受け付けております。お気軽にメッセージください。